

## 中世の要害の地を歩く 戸倉城山

実施日 2012年12月2日(日)  
 天候 晴時々曇  
 リーダー 一柳 昭  
 S L 渋谷 京子  
 参加者 若村貴世子、一柳昭、伊東勝昭、涌井良明、島本陳重、小村井好枝、鈴木恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、小名秀鋭、石附智子、G(林みつ枝) 計15名  
 費用 立川駅⇔武蔵五日市駅(往復)580円 武蔵五日市駅⇒荷田子BS310円 費用合計 890円  
 タイム 武蔵五日市駅(9:08~9:40バス) 荷田子BS(9:52) 荷田子峠(10:31~10:40) 盆堀山(11:19~11:24) 戸倉城山(11:53~12:30昼食) 光厳寺(13:00~13:10) 金剛の滝(14:10~14:22) 広徳寺(14:45~15:06) 武蔵五日市駅(15:37~15:55)



林に入るとすぐに急登となり、30分程登ると荷田子峠に着く。左折し尾根沿いに行くと荷田子集落が見下ろせる。



檜原街道に沿った急なアップダウンの尾根道を進むと大きな送電鉄塔を2つくぐり更に登ると平坦な尾根道になり城山に着く。



中世の山城だった頂上から武蔵五日市の町を見下ろしながら昼食をとる。



山頂からの下り出しは岩場の急降下で注意しながら進み十字路を左折し光厳寺に着く。光厳寺は桜で有名

だが今日は紅葉が見事だった。当初の計画はここから武蔵五日市駅へ帰る予定だったが、下見の際に確認した日向峰道を経由して金剛の滝に向かう。



金剛の滝は今熊山の北側の谷を流れる



逆川にある滝で手前にある小さな滝が「雌滝」で橋を渡って腰を低くして小さいトンネルを抜けると「雄滝」

がある。落差14mでそれほど大きくない滝だが周囲を岸壁に囲まれ間近からの眺めは中々の迫力がある。先ほど来た道を少し戻り分岐から広徳寺に向かう。広徳寺は室町時代に創立された古刹でかやぶきの山門、境内にある対の大イチョウは黄色のじゅうたんを作り美しかった。あとは車道歩きで武蔵五日市駅で解散した。



(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)

